

令和4年度

施 政 方 針

世界に誇る碧南市を目指して

碧 南 市 長 禰 宜 田 政 信

はじめに

令和4年第2回碧南市議会定例会の開催に当たり、令和4年度の施政方針と予算の趣旨を申し上げ、議員の皆様を始め市民の皆様のご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

昨年、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、拡大と縮小を繰り返しながらも、徹底した感染症対策やワクチン接種の浸透により一旦は収束しましたが、年末年始の県をまたぐ移動や海外で猛威を振るっている感染力の強い変異ウイルスの国内発生により先行き不透明な状況であります。これまで以上に強い危機感を持って感染状況を注視し、必要な感染対策を迅速に行うとともに、引き続き、市民の皆様の命と生活を守ることを最優先としてまいります。

早いもので、4期目の任期も折り返しの年となりました。今期は、迅速な感染症対策を講じながらも、第6次碧南市総合計画に掲げました3つの方針に沿って、「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」のまちづくりを目指し、マニフェスト事業とともに着実に実施をしているところでございます。コロナ禍の影響により、工事の遅れや事業の見直し等でご迷惑をおかけすることもございますが、誠心誠意取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

碧南市を取り巻く経済財政環境

我が国の経済動向でございますが、新型コロナウイルス感染症の感染者数が比較的抑制され、自動車産業等での供給制約や原材料価格の高騰等の不安材料もあるものの、輸出や生産を中心に持ち直しの傾向にあるとの見方が示されております。今後も世界的なコロナ禍の収束に伴う海外経済の改善や各種政策の効果により景気が持ち直していくことが期待される一方、下振れリスクとして、新たな変異株の感染拡大に伴う行動制限や資源高によるコスト増、米国のインフレに伴う米国債市場への影響、中国の不動産市場の動向などを注視しなければなりません。

こうした中、政府は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止やウィズコロナの下での社会経済活動の

再開、次なる危機への備え等を盛り込んだ施策とともに、コロナ後の新しい社会の開拓と成長と分配の好循環の実現のため、科学技術立国の実現、デジタル田園都市国家構想、経済安全保障の推進の3つを主軸とした成長・分配戦略に基づいた施策を打ち出しました。これらの経済対策による需要創出効果が、景気回復の後押しに繋がることを大いに期待するものであります。

令和4年度の取り組み

令和4年度の行財政運営といたしましては、第6次碧南市総合計画の中の新たなまちづくり戦略として掲げました3つの方針に沿い、進めてまいります。

1点目は、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」であります。

主要道路や狭あい道路等のインフラ整備、学校施設、市営住宅や第2配水場等の公共施設の長寿命化を進め、市民生活のライフラインを守り、安心・安全に生活できる災害に強いまちづくりを目指してまいります。

また、地域防災の要である自主防災組織の強化を図り、大規模災害に備えるとともに、市民の防災意識の向上を図ってまいります。

環境面では、脱炭素社会へ向けた取り組みとしまして、次世代自動車購入補助の拡充、道路照明灯のLED化の推進、庁用車における燃料電池自動車及び電気自動車の導入を推進してまいります。

2点目は、「産業と港を活かしたまちづくり」であります。

工場等の新增設や新規創業への支援の充実、経営悪化に対する継続的支援等を行い、安定的な税収と雇用の創出を維持するとともに、新たな農作物のブランド化や工業用地整備の推進により、地場産業の振興及び産業力の強化を図ってまいります。

また、スケートボードパーク、ビーチコートを利用した各種大会の誘致や支援等を通し、臨海部におけるスポーツ・レクリエーション活動のできる賑わいの場づくりを推進し、本市独自の魅力を活かした持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

3点目は、「誰もが笑顔で元気に暮らせる賑わいのあるまちづくり」であります。

誰もが地域の人々とのつながりを持ちながら笑顔で暮らし続けることができるように、健康づくりに関する事業、安心して子育てができる保育環境の整備、駅周辺の賑わいに関する事業、介護サービスの充実等の施策を引き続き実施し、新たな人の流れを築くとともに、快適に暮らせるまちづくりを推進してまいります。また、SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」の推進のため、多文化共生に関する事業等、国籍を問わず安心して暮らしていくために必要な支援を充実させてまいります。

令和4年度予算編成

令和4年度当初予算につきましては、第6次碧南市総合計画及びマニフェストに沿った重点事業を着実に実施しながら、SDGsの17の目標に沿い、持続可能な開発目標を推進するとともに、老朽化の進む公共施設の長寿命化のための公共施設維持基金の活用等、今後の財政負担を見据えた予算編成を行いました。この結果、一般会計の予算総額は、前年度当初予算額に対し、3.2%増の335億円余となりました。

歳入面におきまして、その根幹をなす市税では、総額で169億2千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして15億2千万円余、率にして9.9%の増を見込みました。このうち個人市民税は、46億2千万円余、前年度当初予算に対し、金額にして2億3千万円余、率にして5.4%の増を、法人市民税は、14億8千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして9億7千万円余、率にして187.9%の大幅な増を見込んでおります。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、個人所得のゆるやかな回復と主に大手企業における企業収益の回復を見込むものであります。

また、固定資産税は、89億7千万円余、前年度当初予算額に対し、金額にして2億6千万円余、率にして3.1%の増を見込んでおります。これは、家屋の新增築及び新型コロナウイルス特例措置分を考慮し、増加を見込むものであります。

なお、事業推進のための財源不足につきましては、財政調整基金や公共施設維持基金等を活用するほか、市債の発行により対応してまいります。

主要な施策

それでは、令和4年度の主要な施策につきまして、マニフェストに掲げました8つの約束に沿いまして、主要な事業を中心にして申し上げます。

1つ目は、「**安心・安全**」でございます。

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、毎年計画的に災害備蓄品を整備するとともに、引き続き、市内38自主防災会組織の育成に努め、地域防災力を高めてまいります。また、地区防災活動拠点である臨海公園にヘリポート機能を新設し、救助活動及び地域内輸送の拠点として整備し、災害に強いまちづくりを目指してまいります。さらには、市民自らが避難所の開設を迅速かつ的確に行えるように、全自主防災会にファーストミッションボックスを活用した訓練の実施や避難所資機材の整備を継続して行ってまいります。

次に、都市基盤整備に関する施策では、主要道路の安全性確保や耐久性の向上を図るため、潮見亥新田線を始めとする市内の1、2級市道の舗装改良工事を実施し、計画的な道路の整備を行ってまいります。また、引き続き、橋梁の長寿命化を図るための修繕工事を実施してまいります。

次に、環境保全施策では、引き続き、第3次碧南市環境基本計画の着実な実施のため、国や県の施策や社会情勢を注視しながら各取組を継続してまいります。とりわけ、令和4年度には、新たに次世代自動車購入費補助事業における個人用購入補助の拡充を行うとともに、カーボンニュートラルの実現に向けた温室効果ガスの削減を目的としたスマートハウス設備設置費補助事業を継続する等、社会情勢の変化に対応した補助事業を充実させることで、地球温暖化対策に努めてまいります。また、環境に配慮したバイオマス素材を配合した燃やすことのできるごみ袋の配布を継続し、一層のごみ減量及び資源化への意識向上を図ってまいります。さらには、社会構造の変化に合わせた資源ごみステーションの立ち番制度の見直しに伴う分別ごみの立ち番の委託化により、市民の負担を軽減しながら資源ごみステーション運営を継続

してまいります。

次に、防犯施策では、市内の防犯灯のLED化が令和3年度で全て完了し、令和4年度には、市内の道路照明灯の調査及び管理台帳の作成を行い、GIS（地理情報システム）による管理を行ってまいります。これにより、道路照明灯の管理を正確に行うことが可能となり、迅速な修繕対応及びLED化への一斉更新を推進し、更なる安心安全の向上を図ってまいります。

水道事業につきましては、安全な水道水の安定供給を維持するため、老朽化の進む第2配水場の電気・機械設備等を順次更新してまいります。

下水道事業につきましては、公共用水域の水質保全のため、引き続き、新川地区、中央地区及び旭地区の整備を進めるとともに、接続促進にも努めてまいります。

病院事業につきましては、入院病棟の改修が本格化し、工事期間中は使用できない病棟もありますが、入院患者の居住環境の改善及び職員が働きやすい環境の整備を行い、質の高い医療及びサービスの提供に努めてまいります。また、令和3年度に関係課によるプロジェクトチームにおいて検討しました改善方針に沿い、厳しい経営状況の改善に努めます。

また、公共施設の長寿命化対策につきましては、東部・南部市民プラザアリーナ、給食センター等の施設照明のLED化を進めるとともに、芸術文化ホールのトイレ改修をはじめ、市営住宅の外壁改修、中部分館の屋根防水改修、水族館の展示水槽改修や瓦屋根改修等の必要な整備を行い、施設の安全を確保し、長寿命化を図ってまいります。さらに、学校関係では、老朽化の著しい日進小学校のトイレ改修をはじめ、中央中学校屋内運動場屋根底防水改修、東中学校音楽室空調更新等を行い、児童や生徒の安全な学習環境の整備を推進してまいります。

2つ目は、「福祉」でございます。

福祉サービスの充実を図るため、令和2年度に拡充しました障害者及び高齢者の入浴サービス優待券の配布を継続してまいります。

また、障害者福祉施策では、令和2年度に策定しましたへきなん障害者ハー

モニタープランにおいて、相談支援の充実、障害者の早期発見と障害児支援の推進、障害理解の促進と差別解消の推進等の方向性を掲げ、着実に取り組んでまいります。さらに、令和4年度ではコミュニケーション支援事業を拡充し、ろう者が生活しやすい環境整備を進めていくほか、引き続き、発達が気になる子どもとその保護者を包括的に支援するため、早期療育親子支援や児童発達支援ネットワーク、ICF（国際生活機能分類）情報把握・共有システムを使った発達支援による関係機関との連携を図ってまいります。

次に、高齢者福祉施策では、高齢者の外出手段の確保に係る事業を拡充し、新たにタクシー料金の助成を行い、外出機会の増加による社会参加の促進や家族の介護負担の軽減を図ってまいります。また、認知症本人、家族に寄り添い支援する伴走型の支援拠点を整備するとともに、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業を継続して実施してまいります。その他、3箇所の地域包括支援センターを中心とした身近な地域での介護予防や包括的支援、筋トレルーム60運営事業等、第8期高齢者ほっとプランに基づき、高齢者の福祉の増進や介護サービス等の事業を実施し、高齢者が安心して暮らせるあたたかい共生のまちづくりに取り組むとともに健康寿命日本一を目指してまいります。

次に、保健衛生施策では、新型コロナウイルスワクチン接種体制を維持し、安全で円滑な接種の継続実施に努めます。また、乳がん検診を始めとする各健康診査の受診しやすい環境の整備、受診後のサポート体制の充実等に取り組み、へきなん健康づくり21プランに基づき、がんを含めた生活習慣病の発症予防及び重症化予防を行ってまいります。

次に、子育て家庭支援施策では、民間保育所施設に対し、老朽化の進む施設改修に係る経費の一部を補助し、施設の利便性の向上及び園児等の安全確保を図るとともに、保育体制及び保育補助者雇用強化に係る経費の補助を継続してまいります。

3つ目は、「**教育・文化・スポーツ・公園**」でございます。

藤井達吉現代美術館では、引き続き、収蔵庫の増設及び施設の魅力向上や

長寿命化対策を含む既存施設の改修を行っており、令和4年度中に完了予定であります。また、海浜水族館では開館40周年を迎えます。必要な老朽化対策を計画的に行い、快適な利用空間の創出とともに魅力向上を図り、引き続き、「新しい人の流れづくり」を推進してまいります。

次に、公園では、明石公園のトイレ屋根改修やさくら橋舗装改修をはじめ、老朽化の進む公園施設や遊具の改築・更新を行い、安全な利用環境の保持及び長寿命化を図るとともに、新たな街区公園となる緑町公園の整備を推進し、良好な都市景観の形成に努めてまいります。また、県営油ヶ淵水辺公園の整備推進では、第1期整備区域全域の供用開始に向け、引き続き、近隣市とともに国及び愛知県へ早期整備を要望してまいります。

次に、スポーツの振興につきましては、感染状況に応じた必要な感染防止対策を講じ、引き続き、各スポーツ団体と連携し各種大会の開催を支援してまいります。とりわけ、ビーチサッカー全国大会「HEKINANカップ」や「全国中学生ビーチバレーボール選手権大会」、オリンピック種目にも採用され注目されているスケートボード大会への開催支援を通じ、スポーツへの関心を高め、スポーツ実施率の向上を図ってまいります。

次に、教育環境の充実につきましては、児童生徒1人1台の端末を活用した教育を推進するため、引き続き、ICT（情報通信技術）支援員を配置し、授業の活性化及び充実を図ってまいります。また、新たに大規模校に養護教諭非常勤講師を配置し、養護教諭の負担を軽減し安心安全な学校運営を図ってまいります。

4つ目は、「**産業基盤の充実**」でございます。

商工業振興施策では、企業の市外流出防止、雇用の維持拡大及び商工業の振興と活性化を目的とし、常用雇用5人以上の中小企業及び25人以上の企業が工場等の新增設を行う場合に対する支援を行ってまいります。その他、人材確保に向けた合同企業説明会や販路拡大に向けた見本市への出展に対する支援や新規創業にかかる初期投資に対する支援を実施してまいります。

また、引き続き、都市計画マスタープランの改定により西端地区に新たに

位置付けられました産業地の道路及び排水管の整備を進めるとともに、企業の進出を促進してまいります。

次に、農業振興施策では、農業経営の改善に資する設備投資に対する支援等を継続してまいります。また、農地整備施策では、川口地区の農業経営の安定及び生産性の向上を図るため、老朽化の進む川口揚水機場の更新整備を支援してまいります。さらに、農村地域保全施策では、川口地区の排水機能を担う碧南干拓排水機場と川口排水機場の長寿命化を図り、地区住民の安全な生活環境の整備を推進してまいります。

5つ目は、「**行財政改革**」でございます。

財政運営では、繰出金や扶助費の増加、老朽化した施設の長寿命化等の将来的な財政負担に備え、各事業をゼロベースで見直しながら、職員提案を活用し、あらゆる角度から無駄を省き、費用対効果を最大限高めることを継続してまいります。また、市有財産利活用基本方針に基づく市有財産の民間への貸付や処分等の利活用や、公共施設等総合管理計画に基づき計画に沿った公共施設維持基金の活用を検討しながら、各施設の適切な維持管理や修繕を実施し長寿命化を図ります。さらに、利用率の低い施設や役割が終了している施設につきましては、統廃合も視野に入れながら、部屋単位での用途変更や多目的利用等、効率的な公共施設のあり方を検討してまいります。

このほか、行政のデジタル化を見据えたオンライン手続の拡大や使用料・手数料等へのキャッシュレス決済導入に向けた検討、マイナンバーカードの申請に係るサポートブース設置による手続の補助等、市民サービスの向上に努めてまいります。

6つ目は、「**協働社会の構築**」でございます。

多国籍化が進む昨今において、国籍や人種等に関わらず誰もが安心して暮らせるまちにするためには、地域における外国人の受入環境を整備し、多文化共生に対する理解を深めることが必要であります。そのため、新たに、在留外国人が在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生

活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、情報提供及び相談を多言語で行う一元的相談窓口を市役所に開設いたします。

また、多様化する地域の課題を、市民と市民、市民と行政が互いに連携、協力して解決に取り組む協働のまちづくりを進めるため、災害時における共助の要になる町内会への加入促進を図るとともに、長期的な視点で各団体が連携して地域の課題に取り組む「地域まちづくり組織」の設置に向けた啓発活動や、まちづくりに取り組む人材の育成を継続してまいります。

観光では、令和5年の大河ドラマの主人公に徳川家康が選ばれました。大浜てらまちには、伊賀越え上陸地として伝わる大浜中区稲荷社や竹千代命名伝承がある称名寺など徳川家ゆかりの寺社が多いため、引き続き、地区の皆様と協力して、大浜てらまちの風情や歴史を活かした事業を進めてまいります。

7つ目は、「**発信力の強化**」でございます。

広報活動の強化では、本市の誇る地場産品のブランド化を目指し、農産物ブランド化推進事業を拡充し、ニンジン、タマネギに次ぐ碧南ブランドの創設に繋げるため、生産団体が行うPR事業等を支援してまいります。

次に、ふるさと応援寄附金制度の充実強化では、好調を維持し、さらに発展させるため、ふるさと応援寄附金の返礼品の新規開発に対する補助や市内地場産品を全国にPRする機会を創出してまいります。また、過去の寄附者を中心に、本市の魅力や考え方、寄附金の使途等を掲載したPRチラシを送付し、寄附をきっかけとした交流人口や関係人口の拡大に期待するとともに、将来的には本市への移住・定住促進に繋がる様、引き続き、お礼の品を通じて碧南市を全国に発信してまいります。

次に、ビーチスポーツ及びスケートボードの振興では、碧南緑地ビーチコートにおいて、ビーチバレーボール、ビーチサッカー、ビーチハンドボール等のビーチスポーツが定着してきており、全国規模の各大会も開催されております。また、スケートボードパークにおいては、オリンピック種目となった後押しもあり、テレビ等の各メディアに取り上げられる機会も増え、

利用者も昼夜問わず訪れ盛況であります。今後も、各大会への積極的な支援を行うとともに、ビーチコートやスケートボードパークを通じて全国に碧南市を発信し、各種全国大会の誘致等を行ってまいります。

8つ目は、「定住・移住・人口対策」でございます。

住環境に関する施策では、新築住宅建設等促進補助金による市内での住宅建設や取得を引き続き支援するとともに、新たに、子どもから高齢者までの世代が安心して生活ができるように、世代間で助け合える環境整備の促進を目的として、三世代での同居等に伴う住宅取得を支援してまいります。

また、子ども・子育て支援の充実では、元気っ子医療費助成を拡充し、現状の中学生までの入院、通院にかかる医療費の無料化に加え、新たに高校生世代の入院に対しても対象としてまいります。

次に、都市基盤整備では、都市計画マスタープランに基づき、北新川駅周辺地区について生活利便性に配慮した都市づくりを推進するための基礎調査を行い、駅前広場及び周辺道路の接続方法等を検討してまいります。

また、碧南駅周辺地区については、駅利用者の利便性向上を図るため、碧南駅西駅前広場の整備を進めるとともに、道路交通の安全確保や道路景観形成、地域活性化を図るため、碧南駅前線の整備も引き続き進めてまいります。

以上、令和4年度の主な施策につきまして申し述べました。

最後に

本国においては、感染拡大による行動制限に伴う経済的な影響は大きく、特に製造業や飲食業に関わる業種においては、未だ経営悪化に苦しむ企業も少なくありません。本市におきましても、製造業の占める割合は卸売・小売業に次いで多く、今後も市内企業に対する継続的支援を始めとする経済対策の充実を図ってまいります。また、先に申し上げましたとおり、高齢化社会に伴う扶助費の増加や老朽化の進む施設の長寿命化等、将来への財政負担も

年々増加することが見込まれ、課題は山積しております。一方で、好調が続くふるさと応援寄附をはじめ、スケートボードパークやビーチコート等、魅力ある本市の資源が各メディアに取り上げられる機会も増え、市外のみならず県外からの利用も増加し、種まき事業が着実に実を結んでいることを実感しております。今後も「世界に誇る碧南市を目指して」のスローガンの下、各種施策に全力で取り組み、市民の皆様に誇っていただける住みやすいまちづくりに努めてまいりますので、市議会及び市民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

